

平成19年5月15日

地域の皆様へ

秋田信用金庫

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について

当金庫は、平成17年8月「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム(平成17～18年度)」に基づき、「地域密着型金融推進計画」を公表致しました。ここに、平成17年4月～19年3月の進捗状況がまとまりましたので、以下に公表致します。

1. 事業再生・中小企業金融円滑化について

当分野においては、初めにあきしん土日相談センターにおける「公認会計士による無料経営相談(17年7月から毎月第2・第4土曜日に実施)」により創業・新事業支援、経営相談、事業再生等幅広い分野でコンサルティング機能の強化・充実に努めました。相談企業の中には具体的な経営改善計画に着手したケースもあり、取引先企業の皆様から好評を得ております。

また、取引先企業の経営改善を目的とした、本部ヒアリング制度を継続実施しました。取引先企業と当金庫が経営全般について意見交換を行い、様々な角度から経営改善を図りました。対象企業を17年度に1社、18年度にもう1社増やし、合計12社で実施しております。

さらに、融資審査態勢の強化を通じて事業再生・中小企業金融円滑化に資することを目的に、17年9月から業種別担当者の配置を、建設業・不動産業担当者2名、その他の業種担当者2名とし、多様化する融資手法の活用を視野に体制を強化しました。

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化への新しい取組みとして、18年6月から若手経営者および企業後継者の経営力の養成、自己啓発をアシストするため「あきしん経営塾」を開講し、第1期・第2期合わせて20名の方が受講いたしました。

目利き及び事業再生にかかる人材育成への対応では、相談機能の充実・融資審査レベルの向上を図るため、子会社あきしん総研(株)への派遣研修を継続しました。その他業界内研修へも並行して参加し、受講者は与信案件の可否判断に止まらず、経営改善等に関するコンサルティング能力を発揮しているところであります。

最後に、顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化としまして、17年4月からコンプライアンス及び苦情処理等について、専属担当者を任命しました。同9月からはより一層の機能強化を図るため経営管理部を創設し、苦情等事例の分析・還元・指導に成果を挙げております。

2. 経営力の強化について

17年度は第一にリスク管理態勢の充実に努めることを目的に、信用リスク量の定量的な把

握、分析に着手しました。具体的には、資産自己査定 of 正確性の向上を図るため、当金庫自己査定結果と、すでに導入を図っている企業信用格付システムの試行結果との整合性の検証に取り組みました。企業信用格付システムの導入については、不動産担保・保証に過度に依存しない融資の促進を図るための企業格付手法の構築、及び融資審査業務の高度化や適正金利の設定等、幅広く活用を見込んでおり、今後の取り組みにより当金庫経営力強化に大きく寄与するものと言えます。さらに、信用リスク計量についてのもう一つのツールである、貸倒実績率算定システムの本格運用を図りました。新しい課題としましては、バーゼル（新BIS規制）に対応したリスク管理体制の検討に着手し、ワーキンググループを設置しました。

次に、企業統治を強化するため、総代会の他にモニター会議・総代懇談会を継続開催しました。さらに、総代及びモニター会員の意見を経営に反映させるため、満足度アンケートを実施し、結果については総代会及びモニター会議で公表しました。

最後に、経営管理部の創設により、更なる法令等遵守態勢の強化が図られ、特に個人情報管理には注力し職員の認識向上につながりました。今後もコンプライアンス経営を推進して参ります。

3. 地域の利用者の利便性向上について

地域の皆様に対する情報提供の充実を図るため、18年度法定開示ディスクロージャー誌において、秋田公立美術工芸短大附属高等学院の皆さんのデザインを表紙等に採用、大項目毎に中とびらを設け、職員の写真を多用するなど、「視覚訴求」と「わかりやすさ」を目指しました。また、18年度半期開示ディスクロージャー誌の開示項目の拡充を図りました。更に、情報発信による地域活性化を狙った情報誌「鱒田の風」は第24回（17年）信用金庫PRコンクールで最優秀賞を受賞しました。

一方、地域の環境保護のため、「秋田のみどり再生運動」の一環として取り組んだ松枯れ再生募金活動は多くの皆様にご協力いただきながら、松くい虫被害に対する認識度アップの一助とするべく、原則月1回実施しております。この他、地域活性化に向けた取り組みとして「あきしんカルチャーバンク」が立ち上げた「ハロウィーン・パレード」が、17年から地元商店街が主体（当金庫が全面的に協力）となり開催されました。

また、ご利用者の皆様の満足度を把握し要望事項等を経営に反映させる取組みとして、18年9月「お客様の声アンケート」を約1,100名の方を対象に実施し、半期開示ディスクロージャー誌およびホームページにて集計結果を公表致しました。

以上、当金庫の「地域密着型金融推進計画」について総括いたしました。平成17年4月～19年3月の重点強化期間中、上記の各種施策により地域密着型金融における一定の機能強化が図られたと考えております。重点強化期間は終了いたしました。地域密着型金融の更なる推進に取り組み、地域の皆様に真に必要なとされる信用金庫となるよう邁進して参ります。